

2022年度 小委員会活動成果報告

(2023年2月25日作成)

小委員会名	建築物の解体工事研究小委員会	主査名：湯浅 昇 就任年月：2021年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (環境配慮運営委員会)	委員長名：橘高 義典 主査名：小山 明男
設置期間	2021年4月 ～ 2023年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	鉄筋コンクリート造および鉄骨造建築物等の解体工事の質的向上、安全確保と環境保全ならびに建設副産物の再利用促進と建設廃棄物の適正処理を達成するための施工標準として「建築物の解体工事指針(案)」(仮称)を制定し出版することを目的とする。 初年度：指針の本文および解説の作成 2年度：査読対応および成果の公表	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：湯浅 昇(日本大学) 幹事：小山 明男(明治大学) 委員：青木 孝義(名古屋市立大学)、浅見 琢也(JATI協会)、出野 政雄(全解工連)、北垣 亮馬(北海道大学)、国枝 陽一郎(東京都立大学)、河野 雄一郎(鹿島建設)、島田 啓三(建設廃棄物協同組合)、竹本 正治(ベステラ)、道正 泰弘(名城大学)、中田 善久(日本大学)、藤本 郷史(宇都宮大学)、柳田 克巳(鹿島建設)	
設置WG (WG名：目的)	建築物の解体工事指針改定作業WG：解体工事に関連する環境および労働安全関係の関連法令について、指針内容が適合していることを確認するための指針改定WGを設置する。	
2022年度予算	140,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	6回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. オンラインによる委員会開催によって、目標とする指針出版に向けて、原稿を作成することはできた。 2. 次年度以降に出版に向けた作業を行うことで、当初の計画期間から遅れるが指針を発刊可能である。
委員会活動の問題点・課題	対面による会議ができないため、指針原案に対する細かいチェックが行き届いていないが、部分的に対面開催も行うことで検討を促進させる。